

みんなで知ろう！ ハンドボールのルール

ハンドボールの試合は1チーム12名で行われる。コートには7人のプレイヤーが入ることができ、コートプレイヤーが6人でゴールキーパーが1人である。ユニフォームはコートプレイヤーとゴールキーパーが違う色でないといけない。

試合の人数



主なルール

伊藤先生はハンドボールの基本的なルールについて「サッカーと同じように、押したり、突いたり、足をかけたりしては反則。反則をしたら相手チームがフリースローをする。ボールはパスして運ぶ、もしくはドリブルで運ぶ」と簡単に説明してくださった。

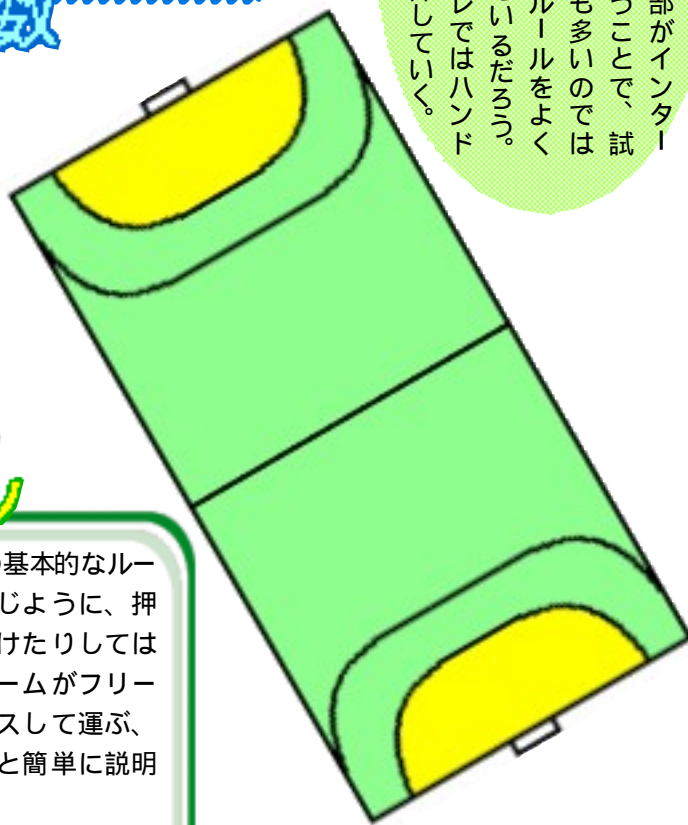
主な反則には以下のようなものがある。
オーバーステップ...ボールを持って4歩以上動く。

オーバータイム...3秒より長くボールを保持する。

キックボール...ボールにひざから下で触れる。

ダブルドリブル...ドリブルしたボールを1度持って、再度ドリブルする。

東高ハンドボール部がインターハイに出場するということで、試合を観戦しに行く人も多いのではないだろうか。だがルールをよく知らない人という人もいるだろう。そこで今回のキマグレではハンドボールのルールを紹介していく。



禁止区域

サッカーには入ってはいけない区域というものはないが、ハンドボールにはゴールキーパーしか入ることのできない6mの禁止区域がある。(図の黄色の範囲)

「ハンドボールのコートの大きさは40m×20mでフットサルのコートとほぼ同じくらいの大ささ。伊藤先生はこれについて「ハンドボールはサッカーを手でするようなもので、コートはフットサルと同じ。だからフットサルを手でするようなもの」と話された。

コートの広さ



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号